

株式会社 今西組

2024 年度 環境経営レポート (対象期間 2024 年4月1日～ 2025 年3月31日)

株式会社 今西組		株式会社 今西組
	株式会社 今西組	
株式会社 今西組		
		

<http://www.imanishigumi.co.jp/>

大阪本社
東京本社



作成日： 2025年5月28日

目 次

項 目	ページ
あいさつ	P. 2
環境経営方針	P. 2
組織の概要	P. 3
事業・製品の紹介	P. 3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	P. 4
主な環境負荷の実績	P. 5
環境経営目標及びその実績	P. 5
環境経営計画の取組結果とその評価	P. 5
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	P. 8
緊急事態対応訓練	P. 9
代表者による全体の評価と見直し・指示	P. 9
これまでの環境活動の紹介	P. 10

□ごあいさつ

SDGsは、地球規模で環境悪化に伴う最悪の事態を回避し、かつ備えるために必須の取組みとなりました。次世代の利益を確保するため、地域建設業も例外ではありません。一方、地域社会の安全・安心の確保を担うという社会的使命を果たしていくうえで持続的・安定的な経営環境が求められています。中長期的な視点から社会資本整備の着実な推進、働き方改革による職場環境の整備、新・担い手3法の適切な運用確保やi-construction等の生産性向上による経営基盤の強化など、克服すべき諸課題への対応が不可欠です。

エコアクション21についても、当社はISO認証企業としての経験を活かし、発注者・監理者からの要請を最優先しつつ、環境に係るすべての取組みを一步一步着実にすすめてまいります。

環境経営方針

<環境経営理念>

当社経営理念「すべての人々の『ハイクオリティ・ライフ』の実現に寄与する」を基に、より良い環境づくりを提供するため、本業である建築工事を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

経営方針のテーマ“目指そう「安心と信頼」の最高峰を！”を実現するため、お客様・社員双方の次世代の利益確保に向けて、一人一人が最優先の環境課題の継続的改善に取り組めます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。



2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。



3. 廃棄物の発生抑制につとめ、建設副産物のリサイクル率の向上に努めます。



4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。



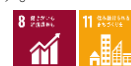
5. 環境に配慮した工事に努めます。



6. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



7. 当社ビジョンの一つである経営方針の実現により、長寿命建物を推進します。



制定日：2021年10月1日

改定日：2023年4月1日

代表取締役社長 今西 良介

□組織の概要

更新日：2024年3月31日

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 今西組
代表取締役社長 今西 良介
- (2) 所在地
大阪本社 大阪府大阪市天王寺区上本町6丁目9番21号
東京本社 東京都新宿区内藤町1番地
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
- | | | | |
|-----|--------|------------------------|--------------------------------------|
| 責任者 | ISO推進室 | 浅野 泰行 | TEL：06-6779-3371 |
| 担当者 | ISO推進室 | 辰己 綾羽（大阪）
大内 一平（東京） | TEL：06-6779-3361
TEL：03-3354-0581 |
- (4) 事業内容
土木建築工事の請負及び設計、監理
- (5) 事業の規模
売上高 43 億円（2024年度）
- | | 大阪本社 | 東京本社 | 合計 |
|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 従業員 名 | 44 名 | 22 名 | 66 名 |
| 延べ床面積 m ² | 427.7 m ² | 241.7 m ² | 669.4 m ² |
- (6) 事業年度 4 月 1 日 ~ 3 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社 今西組
対象事業所：大阪本社
東京本社

対象外：なし
活動：土木建築工事の請負及び設計、監理

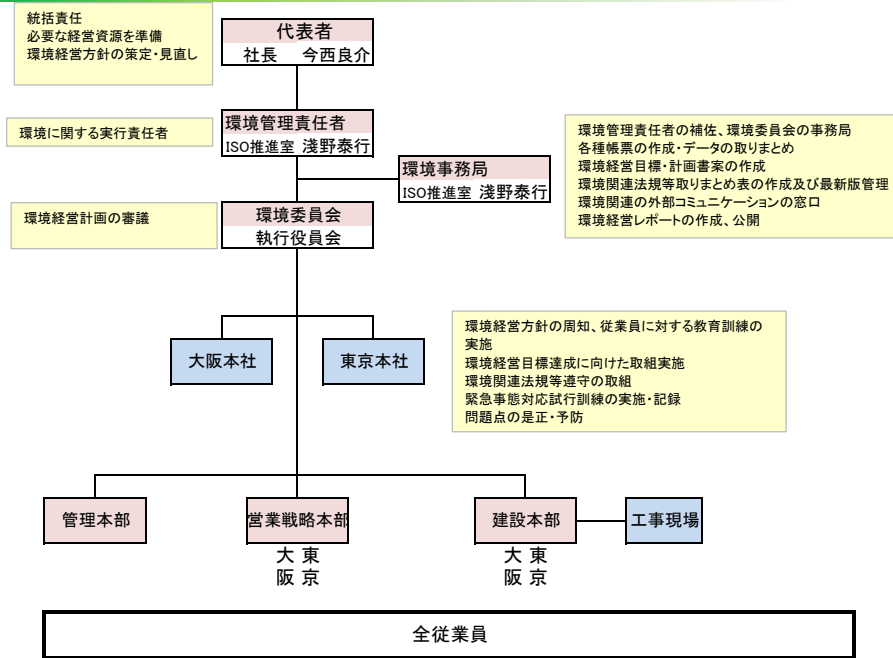
□事業や製品(商品)の紹介

事業概要 <http://www.imanishigumi.co.jp/business/>
許可種別 建築工事業、土木工事業、舗装工事業、鋼構造物工事業、水道施設工事業、石工事業、屋根工事業、タイル、れんが、ブロック工事業、板金工事業、塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業、建具工事業、大工工事業、鉄筋工事業、しゅんせつ工事業、ガラス工事業、左官工事業、とび・土工事業、解体工事業

建設業許可番号 国土交通大臣許可：(特-2)第4049号
建築士登録番号 一級建築士事務所 大阪府知事登録(二)第20179号
施工実績 <http://www.imanishigumi.co.jp/works/>
有資格者 1 級建築士
1 級管工事施工管理技士
2 級建築士
2 級建築施工管理技士
建設業経理事務士
1 級土木施工管理技士
2 級土木施工管理技士
宅地建物取引主任者

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2024年3月31日



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	81,622	94,574	92,547
廃棄物排出量	トン	20,125	13,353	13,889
一般廃棄物排出量	トン	3,481	1,732	1,768
産業廃棄物排出量	トン	16,644	11,620	12,121
総排水量	m ³	4,516	6,029	3,137

※二酸化炭素排出係数 0.419 kg-CO₂/kWh 関西電力の調整後の係数(2024年度)
0.431 kg-CO₂/kWh 東京電力の調整後の係数(2024年度)

※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績

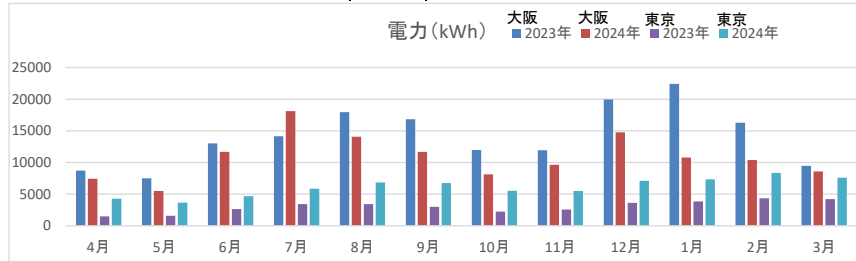
項目	年度	2023年		2024年		評価	2025年	2026年
		(基準値)	(実績)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	大阪(kg-CO ₂)	62,432	61,183	54,767	○	60,559	59,935	
	東京(kg-CO ₂)	15,681	15,367	31,665	×	15,210	15,053	
	基準年度比		98%	111%		97%	96%	
	大阪kg-CO ₂ /百万円	16,496	16,166	9,898	○	16000.9	15835.9	
原単位	東京kg-CO ₂ /百万円	3,691	3,617	5,723	×	3580.4	3543.5	
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	2,840	2,783	2,244	○	2,755	2,726	
	基準年度比		98%	79%		97%	96%	
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	80,952	79,333	88,676	×	78,524	77,714	
一般廃棄物の削減	kg	1,732	1,698	1,768	×	1,680	1,663	
	基準年度比		98%	102%		97%	96%	
混合産業廃棄物の削減	kg	338	331	318	○	328	325	
	基準年度比		98%	94%		97%	96%	
建設副産物の再資源化率の向上	%	90%	91%	93%	○	92%	93%	
水使用量	m ³	6,029	5,909	3,137	○	5,848	5,788	
	基準年度比		98%	52%		97%	96%	
環境に配慮した工事の推進		行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

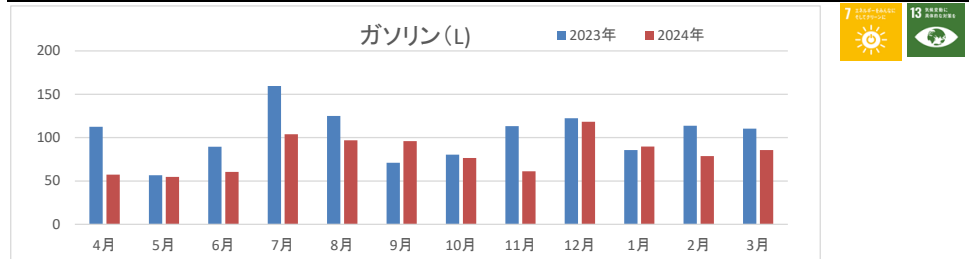
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標 (大阪)	○	全体で目標は達成ならず。
原単位目標 (大阪)	○	大阪は目標達成。
数値目標 (東京)	×	東京は目標達成ならず。(現場数が影響)
原単位目標 (東京)	×	次年度も引き続き目標達成に向けて取り組んでいく。
・OA機器は、省電力設定にしている	○	
・服装の工夫をして、冷暖房の使用を抑えている	○	
・LED照明を採用している	○	
・OA機器については、エネルギー効率の高い機器を導入している	○	



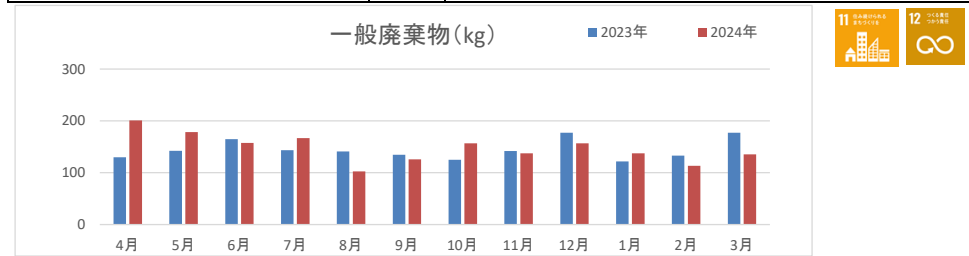
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大阪	8715.7	7501.2	13010.6	14139	17965.7	16848.9	11955.2	11928	19966	22410.3	16276.8	9476.3
2024年	7426.6	5498.5	11682.8	18108.9	14068.9	11674.9	8112	9637	14758.4	10786.9	10383.2	8570.1
東京	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	1,491	1,573	2,626	3,438	3,412	3,000	2,250	2,566	3,624	3,862	4,331	4,209
2024年	4,276	3,664	4,685	5,848	6,855	6,744	5,513	5,483	7,098	7,328	8,362	7,613

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成。
・社用車について、低公害車への切替えに取り組んでいる	○	遠方の現場などが完工し使用頻度が減ったため目標達成。
・タイヤの空気圧を確認し、適正値を保つように努めている	○	
・適正な車輛整備を行っている	○	



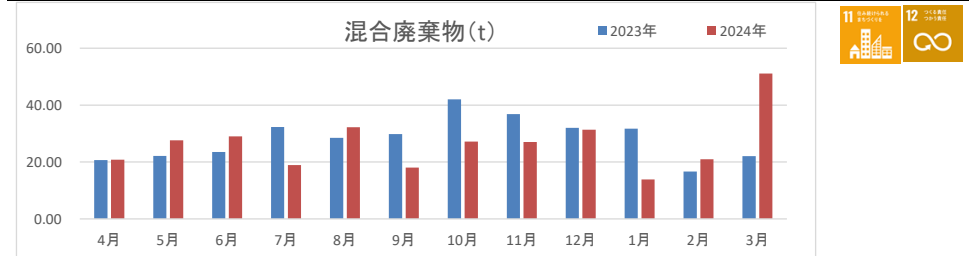
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	112.48	56.53	89.5	159.5	125.06	71	80.49	113.31	122.42	85.76	113.75	110.37
2024年	57.43	54.69	60.39	103.91	97	95.88	76.64	61.15	118.3	89.86	78.81	85.78

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	目標未達成。
・使い捨て製品の使用や購入を抑制している	○	月次では半月以上が目標達成しているが挽回できず。現場から上がってきた人が増えると廃棄物も増えてしまう傾向にある。
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・ペーパータオルを廃止している	○	
・シュレッダーの使用を機密文書などに限りに努めている	○	



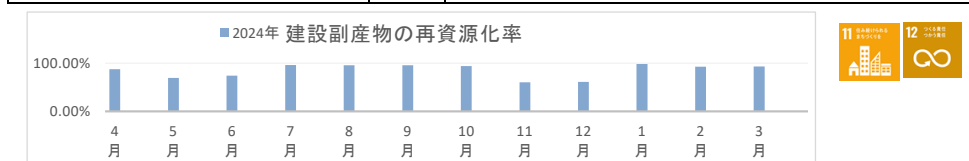
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	130	142	165	144	141	135	125	142	177	122	133	177
2024年	201	178	157	167	103	126	157	137	157	137	113	135

混合産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成。
・電子マニフェストを導入している	○	引き続き目標に向けて取り組みを行う。
・施工方法や作業方法を見直し、廃棄物の抑制に取り組んでいる	○	
・発注時に使用数量を再チェックし、残余資材の廃棄を抑制している	○	



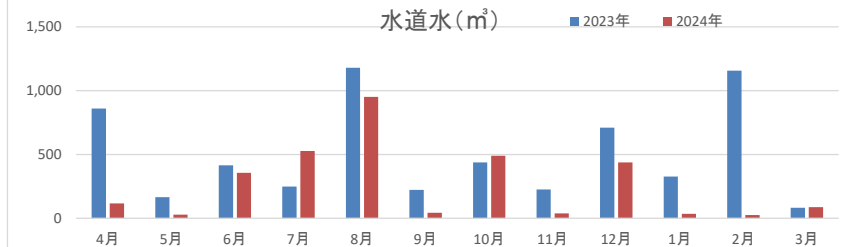
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	20.70	22.15	23.53	32.29	28.52	29.80	42.02	36.84	31.98	31.72	16.64	22.05
2024年	20.85	27.61	28.99	18.93	32.27	18.07	27.22	27.01	31.36	13.88	20.93	51.11

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	再資源率92.4%(アス、コン、混合は除く)。引き続き目標に向けて取り組みを行う。
・分別の徹底	○	
・再資源化先の開拓	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2024年	87.72%	69.35%	74.31%	96.18%	95.63%	95.81%	94.09%	60.55%	61.36%	98.22%	92.85%	93.39%

水使用量	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成。
・自動水栓取り付けしている	○	現場の数にもよるが、引き続き目標達成に向けて取り組みを行う。
・建設機械などを洗車する場合は、泥などを落としてから行っている	○	
・	○	
・	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2023年	859	166	415	248	1,180	222	437	226	710	327	1,156	83
2024年	117	29	357	528	951	44	489	39	438	35	26	87

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・騒音・振動対策	○	官庁工事に関しては環境目標に順守し工事に取り組めた。民間工事に関しては近隣等に配慮し工事に取り組めた。
・排出ガス対策	○	
・河川及び農業用水路等に直接配水しない	○	

環境に配慮した重機を使用

騒音計を設置



課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・顧客・設計事務所からの信頼向上	○	顧客の信頼と満足を得られるよう取り組んでおり、引き続き取り組んでいく。
・従業員全員の原価改善意識の向上	○	
・積極的な採用活動を実践	○	
・未来を担う後輩への教育指導方法	○	
・長寿命建物を推進できるチャンス	○	

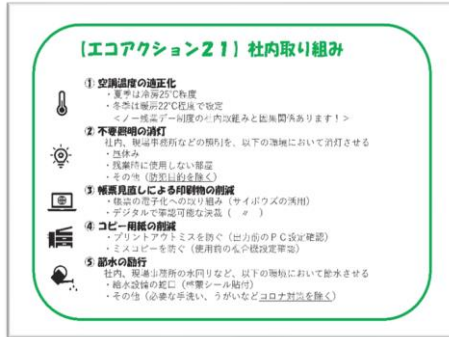
竣工後、施主様より頂いた感謝状



□各事業所の取組紹介

<本社>

2022年度より大阪東京ともに「【エコアクション21】社内取り組み」を掲げ実行する。



<現場>

各現場も大阪東京ともに「【エコアクション21】社内取り組み」を掲げ実行する。



□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
建設リサイクル法	解体工事、建設副産物
騒音規制法	特定建設作業の事前届出
振動規制法	特定建設作業の事前届出
フロン排出抑制法	第1種特定機器 簡易点検
資源有効利用促進法	パソコンのリサイクルによる資源の有効利用の促進を図る
顧客要求事項	環境管理、品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 大阪・東京 地震の発生	
■実施日： 2024年6月25日	■実施場所 各事務所、各現場
■参加者： 全社員	■実施内容 安否確認
■評価：BCPに基づき実施	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 【今西組緊急対策本部】より震度6強の地震発生を想定した現場の現状報告と安否確認を実施。社用携帯電話のLINEWORKSを活用し全社員の安否を確認。大阪と東京、共に緊急対策本部を設置し対策委員の招集を行う。各現場ZOOMにて現状報告。	



□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2025年5月21日

・目標・計画の達成状況・・・個別の成果はレポートの通りですが、会社全体では現場のウエイトが非常に高い。達成度によっては、現場での改善を所轄部署に要請し、エコアクション活動を強化していく。

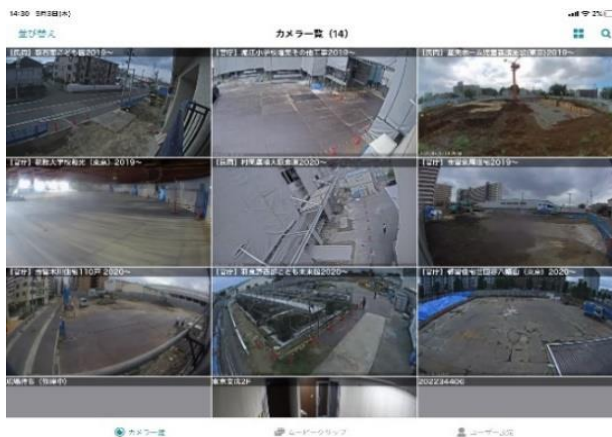
・組織を取り巻く経済環境・・・昨年度の業績は、所定の目標をすべての指標でクリアし、上昇気流に乗れた。進行年度においても繰越の受注残が多く、先が見通せる状況といえる。一方で社員の人手不足・若手の成長に将来の不安がある。取引先業者（下請）の労務ひっ迫が危機的だ。直近の戦略会議では、「成長を促す行動」「安全を促す行動」にそれぞれ危機感をもってアクションするよう指示した。

・組織の課題とチャンス・・・人財不足をどのように解消するかが課題。競合他社が相次いで人手不足により入札を辞退するなど受注機会を逸してるなかで、人財確保に結びつく行動自体が当社の大チャンス。昨年度からの継続課題。

・任意のESG指標の測定と向上・SDGsへの本質的な取組みは、当社の社会的課題です。エコアクション21を活用して、これらの課題解決に向けて、全社挙げて推進しています。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

□これまでの環境活動の紹介



- エコアクション21全体の総括的な見直しに必要な情報を収集します
- 取組みが持続可能なように、運用方法を決めます
- 毎年1回、実践した取組みの進捗成果を測りたく、その測定方法を決めます
- 測定結果を環境委員会で発表のうえ、委員会で検証し、運用の見直しを行います。